

性格はDNAで決まつていった!?

血液型で性格が、ここまでいろいろわかるのなら、血液型どころか人体すべての情報を持つ「遺伝子」を調べたら、もっとハッキリ、運命や人生までわかつたりしちゃうのかも!? 最先端の遺伝子に関する知識を、かみ砕いてお伝えします。

Q1

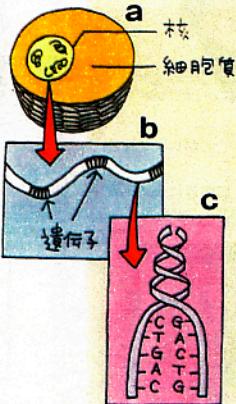
遺伝子で何が決められているの?

遺伝子の役割は、体を作る基となる「タンパク質を作る」こと。…と聞くと、あまりに簡単だが、遺伝子が作るタンパク質の種類は、ヒトの場合で数十万種類あるといわれている。

遺伝子が違うと、作られるタ

[復習・遺伝子ってなんだっけ?]

ヒトの体は、卵子と精子が結びついてできた最初の一つの細胞から分裂して約60兆個の細胞でできている。そのすべてに同じDNA(デオキシリボ核酸)という物質が入っている。DNAは2重らせんのひも状で、普段は細胞の核の中に折りたたまれている(イラストa)。その長さは約1m。中にはチミン、アデニン、グアニン、シトシンという4種類の塩基の配列からなる、約30億文字分もの情報が並んでいる(c)。この塩基配列の一部がタンパク質を作る設計図の役割をするのだ。これを「遺伝子」(b)といいう。



遺伝子は体を作る設計図
体格や体质、素質などが、
遺伝子によって決まる

MAMA

PAPA

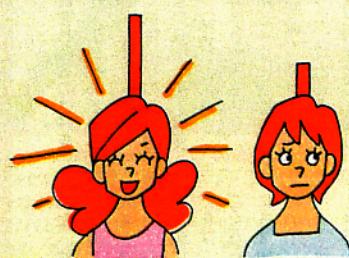


両親から半分ずつ受け
継いた遺伝子が各自の
体质や気質などの基に。

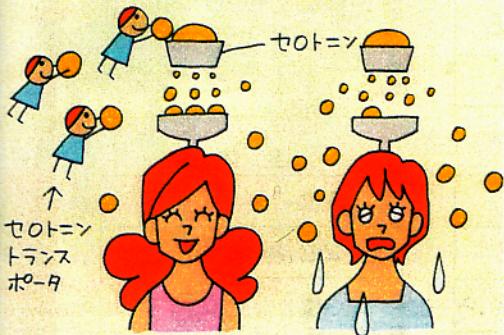
核の中のDNAを拡大するとbの
ようによく一部が遺伝子として働いて
いる。さらに拡大するとcのよ
うな塩基配列が並んでいる。

[こんな性格がわかります]

性格と関係する遺伝子の一つが、好奇心や快感などを作り出す神経伝達物質(ドーバミン)に関するもの。脳内で分泌されたドーバミンを受け取る受容体のうち、D4という受容体を作る遺伝子の塩基配列が長い人はほど好奇心旺盛で新しいものが大好き。短い人はほど慎重派。違つてきます。その意味では、「遺伝子は人の能力にも影響を及ぼすといえます」(早稲田大学理工学部教授・山元大輔さん)



脳内物質のドーバミン受容体のうち、D4という受容体を作る遺伝子の塩基配列が長い人はほど好奇心旺盛で新しいものが大好き。短い人はほど慎重派。



「セロトニントランスポータ」が多い人は、こぼれたセロトニンをより多く拾って何度も再利用できる。つまり、より明るくなりやすい。

人の感情や行動は、突き詰めれば、脳内の神経伝達物質などの働きによる。その神経伝達物質は遺伝子の情報を基に作られる。つまり、性格も元をたどれ

ば遺伝子が作っていることに!! 「実際に、人の性格に関係する遺伝子はいくつか見つかっています。それらは脳の神経伝達物質に作用して、新しいものに対する好奇心の度合いを決めたり、脳病気を決定しています。性格もある程度、遺伝子の影響を受けています」(山元さん)

また性格と関係深いエビソードとして、結婚相手を選ぶ際

ある遺伝子が無意識的に作用しているのではないかという説がある。それは主に臓器移植で組織の適合性を決めるHLA(ヒト白血球抗原)遺伝子。人はこのHLAの型が自分とかけ離れている相手ほど、魅力を感じるという実験結果があります」(山元さん)

遺伝子はある程度、人の性格に影響を与えているといえる



無意識のうちに、異なるパズルのピース(HLA)を探す私たち。理想的な相手を選ぶ鍵は、なんと体臭にあるらしい!

Q2

性格も、遺伝子によって最初から決まっているの?



楽観的か悲観的かも、遺伝子に決められていたなんて!

[「恋愛遺伝子」HLAとは]

HLAは白血球など大抵の細胞にあるタンパク質で、臓器移植の適合性判断に使われる物質の一種。そのバリエーションはABO式よりもはるかに多く、何万通りにも。人は無意識的に、HLAの型が自分とかけ離れている人に惹かれるという実験結果がある。ここからHLAはフェロモンに関係しているとも考えられている(一説には体臭、主にワキの匂いで判別しているとか!)。また、HLAの一一致の度合いが大きい夫婦では、流産や子供の病気のリスクが高いという傾向もある。実際、山元さんのところに、結婚相談所からこのHLA相性診断に基づいたお見合いシステムを作る相談があったという。

